

# ふれ愛メッセージ

## 水没地域の方々の生活再建を最優先に

小石原川ダム建設所長の末吉です。

地域の皆様、利水者の皆様及び関係機関の皆様には、日頃から小石原川ダム建設事業に温かいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

水資源機構は、「安全で良質な水を安定して安くお届けする」ことを経営理念とし、皆様方に信頼され、更なるご支援・ご協力を頂ける組織を目指し事業に取り組んでおります。

さて、私どもが事業を進めるあさくら地域は「水の郷」と呼ばれ、福岡都市圏、福岡県南及び佐賀県地域の方々の生活に欠かすことのできない貴重な水を生み出す水源であるとともに、水源涵養機能を有する自然豊かな地域であります。この地域では、既に江川ダムと寺内ダムの二つのダムが完成し水を供給しており、水源豊かなこの地域において、三つ目のダムとして小石原川ダムの建設を進めております。建設の目的は、①小石原川沿川の洪水防御、②福岡県南地域の水道用水の確保、③小石原川・佐田川及び筑後川沿川の既得用水の補給・河川環境の保全、④異常渇水時の緊急水の補給となります。

また、将来3ダムを相互運用することにより小石原川・佐田川の河川流量の増加が期待されます。

法手続では平成18年3月に事業実施計画の認可、同年5月に水源地域対策特別措置法のダム指定をそれぞれ国から受けておりますが、昭和55年度の予備調査開始から今年で27年を数え、この間、特に水没地域の方々には大変なご心労を頂いているところです。

現在、着工に備え水理水文調査・地質調査・地形測量等を鋭意実施するとともに水没地域の方々の生活再建のための集団移転地、付替道路等の計画、ダム本体工事着手に向けた施工計画の検討等について関係者及び関係機関と協議を行っています。そして、事業に必要な土地等をお譲り頂くこととなる土地所有者等の方々に対する損失補償をする際の基準となる「損失補償基準」作成作業が大詰めを迎えているところです。

引き続き水没地域の方々の生活再建を最優先にこれからも取り組んで参る所存であります。また、一日も早く損失補償基準をご提示でき、早期妥結できますよう、更には、早期工事着手を目指し職員一同努力して参りますので、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



夏の水浦



独立行政法人水資源機構  
小石原川ダム建設所長

すえ よし こう じ  
末 吉 浩 二



# ふれ愛 インフォメーション

だいかんばつきねんひ

## 【大旱魃記念碑】

昭和35年（1960年）、この地方を大旱魃が襲いました。人々は協力して用水池を掘削し、貴重な水を使って稲を救ったそうです。先人達が残した石碑は、水の恵みを分かち合う努力が大切であると私達に語りかけているようです。

場所：馬田地区、西鉄甘木線から東に約200m。  
水田の中にある「両筑土地改良区Ⅲ-14揚水機場」横



## 【両筑平野用水総合事業所（江川ダム）からのお知らせ】

江川ダムでは、水の大切さやダムの役割を多くの方々に知って頂くことを目的に施設見学会を実施しております。

見学会ではガイド役を務める職員が、普段見ることのできないダム操作室やダム堤体内の管理用通路などを案内し、施設の説明を行うことで、ダムを身近に感じて頂いております。

これまで、地元朝倉市をはじめ、福岡市などから社会学習の一環として多くの小学4年生が江川ダムを訪れています。

施設見学を希望される小学校がございましたら、両筑平野用水総合事業所 総務課（電話0946-25-0113）までお問い合わせ下さい。



ダム施設を管理する中心部（操作室）です。  
ここでダムの水を調節し、下流へ安定した水を供給しています。



ダムの内部にある管理のための通路です。ダムの内部は、温度の変化が少ないため、夏は涼しく、冬は暖かく感じることが出来ます。

## 【松永副所長（事務）、用地職員功労者表彰受賞】

当建設所松永副所長（事務）が、「用地職員功労者表彰」を受賞しました。これは、九州内公共事業者の用地部門の集まりである九州地区用地対策連絡会が、用地補償業務に功績があった者に対し表彰するもので、去る5月24日（木）に福岡市立少年科学文化会館ホールにて、表彰式典が開催されました。

「今までの経験が評価されたことは大変うれしく、これもひとえに関係各位の皆様のご協力、ご助力があつてのことと考えています。これを励みに、私も含め当建設所職員一丸となつて、ますます小石原川ダム建設事業に尽くして参りたく思いますので、今後ともなにとぞよろしくお願ひします。」（松永談）





# ふれ愛プロジェクト

## 1. 平成19年度の事業の概要

小石原川ダム建設所では、ダム建設予定地周辺の豊かな自然環境をまもり、かけがえのない貴重な土地を提供していただくこととなる皆様方のご理解とご協力を得て、事業の進捗を図っているところであります。

### ①測量・地質調査・設計関連

- ・測量（ダム本体関連、迂回道路、工所用道路、付替道路）
- ・地質調査（ダムサイト及び材料山）
- ・水理・水文調査（水質、流量観測）
- ・環境調査
- ・補償調査（水没地、付替道路、他）
- ・設計業務（ダム本体関連、迂回道路、工所用道路、付替道路）

### ②用地関連

- ・集団移転地の造成工事
- ・水没地の補償契約
- ・生活再建の相談等

### ③その他

- ・建設事務所の新築工事



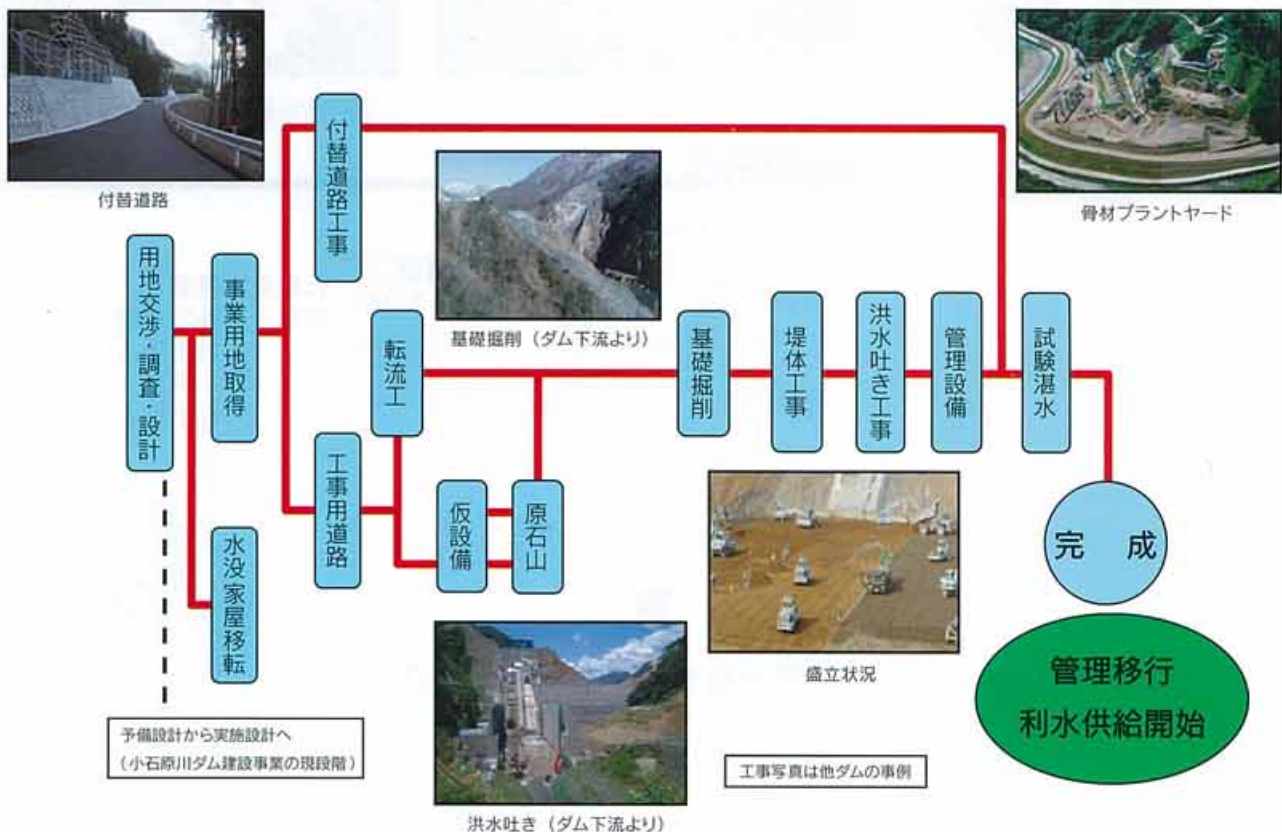
ダム予定地を下流から望む

本年度は、昨年度に引続き、ダムサイト及び材料山の地質調査、水理・水文調査、環境調査、補償調査（水没地・他）、工所用道路及び付替道路の測量・地質調査・設計等を実施していきます。

また、集団移転地の造成を行うとともに水没地の補償契約を開始する予定です。

平成19年度に実施する主な内容は、左記のとおりです。

## 2. ダム建設事業の流れ





# ふれ愛 インフォメーション

## 水の週間行事のお知らせ

毎年8月1日は「水の日」、その日から一週間は「水の週間」です。  
当機構では8月5日（日）に水の週間行事として『あさくら3ダム見学会』を開催します。

今年は江川ダム、寺内ダムを会場に  
◇普段は入ることのできない“ダムの操作室”や“ダムの内部通路”などの見学会  
◇小石原川ダムのことや「水の郷」と呼ばれるあさくら地域の紹介  
を予定しています。

実物のダムのスケールの大きさを肌で感じつつ、地域の安全・地域の発展に欠かすことのできない3ダムについて学んで頂くことにより、きっとダムを身近に感じて頂けると思います。たくさんの方々のご来場を心よりお待ちしております。詳しくはポスター、チラシ又は各事務所のホームページをご覧ください。次の連絡先へお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：両筑平野用水総合事業所（江川ダム）	TEL0946-25-0113
寺内ダム管理所	TEL0946-22-6713
小石原川ダム建設所	TEL0946-22-7000



間近で見ると迫力満点（江川ダム）



いざ、ダム内部通路へ（寺内ダム）



正解は何番かな？（小石原川ダム）

### 編集後記

この度、第30号を発行しました。当ダムでは本誌をとおして「あさくら3ダム（江川ダム・寺内ダム・小石原川ダム）」についてもっと皆さんに知ってもらえるよう、江川ダム、寺内ダムと協力して情報を発信して行きたいと思っています。皆さんに愛読していただける誌面作りを心掛けて参りますので、今後ともよろしくお願いたします。

### アクセス



公共交通機関  
電車：西鉄甘木線  
甘木駅より徒歩1分  
甘木鉄道  
甘木駅より徒歩2分

水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構 小石原川ダム建設所

〒838-0068 福岡県朝倉市甘木1187

☎0946 (22) 7000 📠0946 (22) 7055

<http://www.water.go.jp/chikugo/koishi>

